

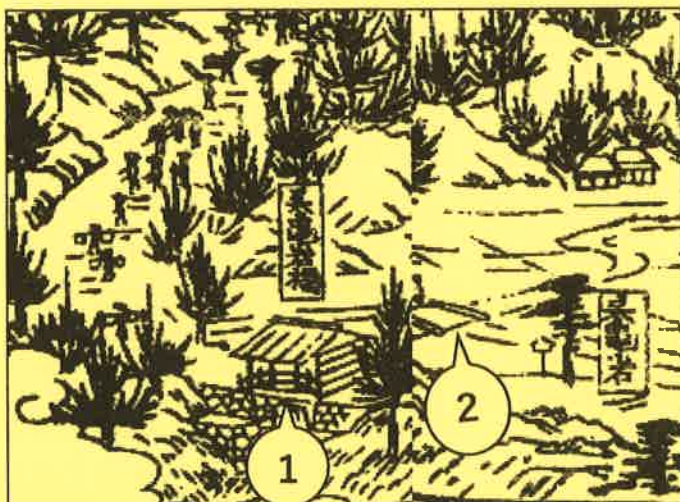


エー！なんで橋が二つも！

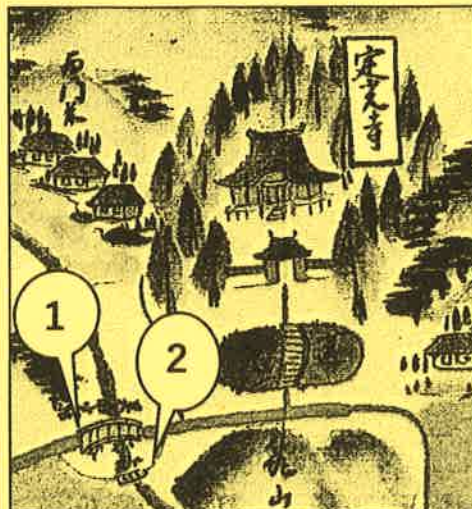


下の絵2枚はともに「尾張名所図会」と「沓掛村々絵図」描かれた、江戸時代の定光寺門前の部分ですが、どちらの絵にも橋が二つ並んで描かれています。どうしてでしょう？

尾張名所図会 定光寺門前



沓掛村々絵図 定光寺門前



答

正伝池がある定光寺公園は、昭和35年に品野町が瀬戸市と合併したのを記念して造成されましたが、以前この一帯はのどかな田園風景となっており、その間を縫うように「御手洗川」（現在は定光寺川と称す）という溪流が流れており、霊亀岩（れいきがん）という奇岩がありました。尾張の殿様の藩祖廟参詣の為、慶安5年（1652）に、霊亀岩を跨ぐように霊亀岩橋（殿様専用の立派な板橋）が架けられました。霊亀岩橋が白布で覆われ、殿様以外の者の使用が禁止されていたので、村人は隣の粗末な土橋を渡ったと言われていました。なので橋が二つあるのです。



郷土史研
会員募集中

こんな感じで「わいわい・がやがや」やっていますので、一緒に「わいわい・がやがや」しませんか？

よく分からなくて迷っている方は、事前の見学大歓迎です。
瀬戸・尾張旭郷土史研究同好会

郷土史研の例会は、毎月第4土曜日（午後2時から2時間）です。
会場は瀬戸市図書館2F会議室または尾張旭市渋川福祉センターで実施しています。
今、例会でやっているのは

- ①江戸時代編集「尾張名所図会」の原文解説、
- ②会員個人の自由研究発表
- ③地名・街道・寺社の3部門に別れてグループ別研究・・・です。
グループ研究は新しいテーマで始まるかもしれません。

例会以外に 市民の皆さんへの、公開歴史講座を開催しています。

会員が研究成果を発表する場として、会報を年2回定期刊行しています。

日帰りバスツアー「ええとこ訪ね隊瀬戸・旭」を企画し、市民の皆さんとの交流を兼ねて各地の城・神社仏閣・宿場・古戦場・古墳などの歴史探訪をして、見聞を広めています。

「研究同好会」の名が示すように歴史を研究したい人や、そこまではしたくない人まで幅広く気軽な場所です。

会費は年 3000円。入会金は1000円です。

お申込みお問合せは

電話FAX
メール

松原良滋
松本博司

0561-87-3119
hiromatsu@gctv.ne.jp